



# Deep Discovery™ Inspector 6.2

VMware NSX-T ポートミラーリングガイド



Endpoint Security



Network Security



Protected Cloud



## ※注意事項

### 複数年契約について

- ・お客さまが複数年契約（複数年分のサポート費用前払い）された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。

- ・複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。

- ・各製品のサポート提供期間は以下の **Web** サイトからご確認ください。

<https://success.trendmicro.com/jp/solution/000207383>

### 法人向け製品のサポートについて

- ・法人向け製品のサポートの一部または全部の内容、範囲または条件は、トレンドマイクロの裁量により随時変更される場合があります。

- ・法人向け製品のサポートの提供におけるトレンドマイクロの義務は、法人向け製品サポートに関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。

### 著作権について

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

## 商標について

TRENDMICRO、TREND MICRO、ウイルスバスター、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、InterScanWebManager、InterScan Web Security Suite、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、Trend Park、Trend Labs、Network VirusWall Enforcer、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、Trend Micro Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、スマートスキャン、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Smart Protection Server、Deep Security、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、SafeSync、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、Trend Micro オンラインスキャン、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、SECURE CLOUD、Trend Micro VDI オプション、おまかせ不正請求クリーンナップサービス、Deep Discovery、TCSE、おまかせインストール・バージョンアップ、Trend Micro Safe Lock、Deep Discovery Inspector、Trend Micro Mobile App Reputation、Jewelry Box、InterScan Messaging Security Suite Plus、おもいでバックアップサービス、おまかせ！スマホお探しサポート、保険&デジタルライフサポート、おまかせ！迷惑ソフトクリーンナップサービス、InterScan Web Security as a Service、Client/Server Suite Premium、Cloud Edge、Trend Micro Remote Manager、Threat Defense Expert、Next Generation Threat Defense、Trend Micro Smart Home Network、Retro Scan、is702、デジタルライフサポートプレミアム、Air サポート、Connected Threat Defense、ライトクリーナー、Trend Micro Policy Manager、フォルダシールド、トレンドマイクロ認定プロフェッショナルトレーニング、Trend Micro Certified Professional、TMCP、XGen、InterScan Messaging Security、InterScan Web Security、Trend Micro Policy-based Security Orchestration、Writing Style DNA、Securing Your Connected World、Apex One、Apex Central、MSPL、TMOL、TSSL、ZERO DAY INITIATIVE、Edge Fire、Smart Check、Trend Micro XDR、Trend Micro Managed XDR、OT Defense Console、Edge IPS、Trend Micro Cloud One、スマスキャ、Cloud One、Cloud One - Workload Security、Cloud One - Conformity、ウイルスバ

スターチェック！、Trend Micro Security Master、および Trend Micro Service One は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2022 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: APEM69460/211129\_JP (2022/06)

## プライバシーと個人データの収集に関する規定

トレンドマイクロ製品の一部の機能は、お客さまの製品の利用状況や検出にかかわる情報を収集してトレンドマイクロに送信します。この情報は一定の管轄区域内および特定の法令等において個人データとみなされることがあります。トレンドマイクロによるこのデータの収集を停止するには、お客さまが関連機能を無効にする必要があります。

Deep Discovery Inspector により収集されるデータの種別と各機能によるデータの収集を無効にする手順については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.go-tm.jp/data-collection-disclosure>

---



### 重要

データ収集の無効化やデータの削除により、製品、サービス、または機能の利用に影響が発生する場合があります。Deep Discovery Inspector における無効化の影響をご確認の上、無効化はお客さまの責任で行っていただくようお願いいたします。

---

トレンドマイクロは、次の Web サイトに規定されたトレンドマイクロのプライバシーポリシー (Global Privacy Notice) に従って、お客さまのデータを取り扱います。

[https://www.trendmicro.com/ja\\_jp/about/legal/privacy-policy-product.html](https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/legal/privacy-policy-product.html)



# 目次

## 第 1 章 : VMware NSX-T でのポートミラーリング

ローカル SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定 .....	15
RSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定 .....	21
ERSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定 .....	28
論理 SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定 .....	34

## 索引

索引 .....	41
----------	----





# はじめに

## 本書について

このマニュアルでは、Trend Micro™ Deep Discovery™ Inspector 6.2 について説明しています。

次の項目を参照してください。

- [10 ページの「ドキュメント」](#)
- [11 ページの「対象読者」](#)
- [11 ページの「ドキュメントの表記規則」](#)

## ドキュメント

Deep Discovery Inspector のドキュメントには次のものがあります。

表 1. 製品ドキュメント

ドキュメント	説明
管理者ガイド	管理者ガイドには、Deep Discovery Inspector を設定して管理する方法の詳細な手順、および Deep Discovery Inspector の概念や機能に関する説明が記載されています。
AWS 配信ガイド	AWS 配信ガイドには、Deep Discovery Inspector の AWS への導入の計画、実施、およびトラブルシューティングに関する要件および手順についての情報が含まれています。
インライン (LAN Bypass) ネットワークインタフェースカードインストールガイド	インライン (LAN バイパス) ネットワークインタフェースカードインストールガイドには、追加のバイパスネットワークインタフェースカードを、サポートされる Deep Discovery Inspector アプライアンスにインストールするための要件と手順に関する情報が記載されています。
インストールガイド	インストールガイドには、Deep Discovery Inspector の導入計画とインストールの要件および手順、さらに事前設定コンソールを使用して初期設定とシステムタスクを実行する方法についての情報が含まれています。
VMware NSX-T ポートミラーリングガイド	VMware NSX-T ポートミラーリングガイドには、Deep Discovery Inspector 導入環境に VMware NSX-T でのミラーリングを設定する方法についての情報が含まれています。
Syslog コンテンツマッピングガイド	Syslog コンテンツマッピングガイドには、ログの管理基準や、Deep Discovery Inspector の Syslog イベントを実装するための構文に関する情報が記載されています。
クイックスタートガイド	クイックスタートガイドには、Deep Discovery Inspector をネットワークに接続して初期設定を実行するための手順がわかりやすく説明されています。
Readme	Readme には、オンラインヘルプや印刷されたドキュメントには記載されていない最新の製品情報が含まれています。新機能、既知の問題、および製品リリースの履歴に関する情報を確認できます。

ドキュメント	説明
オンラインヘルプ	オンラインヘルプには、Deep Discovery Inspector のコンポーネントと機能、Deep Discovery Inspector を設定するために必要な手順が説明されています。
サポートポータル	サポートポータルは、問題の解決およびトラブルシューティングの情報を参照できるオンラインデータベースです。製品の既知の問題に関する最新の情報を得ることができます。サポートポータルにアクセスするには、以下の Web サイトをご覧ください。 <a href="https://success.trendmicro.com/jp/technical-support">https://success.trendmicro.com/jp/technical-support</a>

## 対象読者

この Deep Discovery Inspector のドキュメントは、IT 管理者とセキュリティアナリストを対象としています。ここでは次のトピックを含め、読者にネットワークと情報セキュリティに関する十分な知識があることを前提としています。





- ・ ネットワークトポロジ
- ・ データベース管理
- ・ ウイルス対策とコンテンツのセキュリティ保護

ただし、サンドボックス環境や脅威イベントの相関分析については、読者がその知識を持っていないものとして説明します。

## ドキュメントの表記規則

このドキュメントでは、次の表記規則を使用しています。

表 2. ドキュメントの表記規則

表記規則	説明
 <b>注意</b>	設定上の注意
 <b>ヒント</b>	推奨事項
 <b>重要</b>	必要な設定や初期設定、および製品の制限事項に関する情報
 <b>警告!</b>	重要な操作と設定オプション

# 第 1 章

## VMware NSX-T でのポートミラーリング

VMware NSX-T でポートミラーリングを設定する際は、次の項目を参照してください。



### 注意

すべての操作は [MANAGER] モードで実行する必要があります。

POLICY

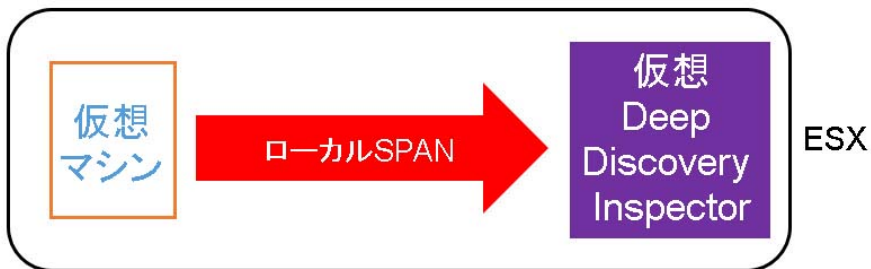
MANAGER



- 内部 ESXi: 同じ ESXi ハイパーバイザまたはデータセンター内からのミラーリング
  - 15 ページの「ローカル SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定」
- 外部 ESXi: 1 つの ESXi ハイパーバイザから別の ESXi ハイパーバイザまたはルーティング可能な送信先 IP アドレスへのミラーリング
  - 21 ページの「RSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定」
  - 28 ページの「ERSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定」

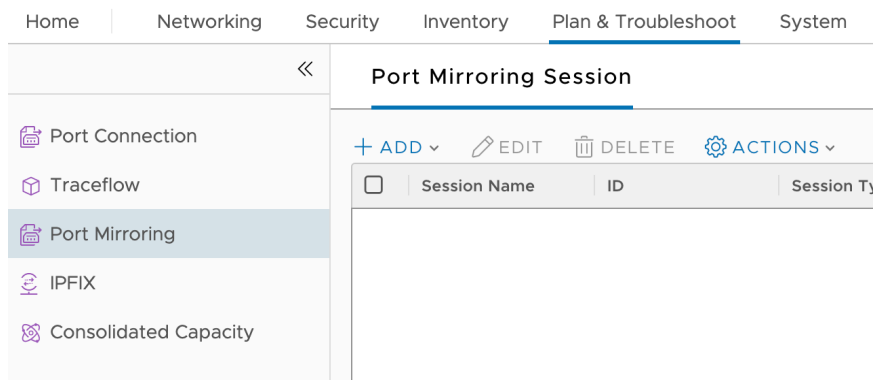
- [34 ページの「論理 SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定」](#)

## ローカル SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定

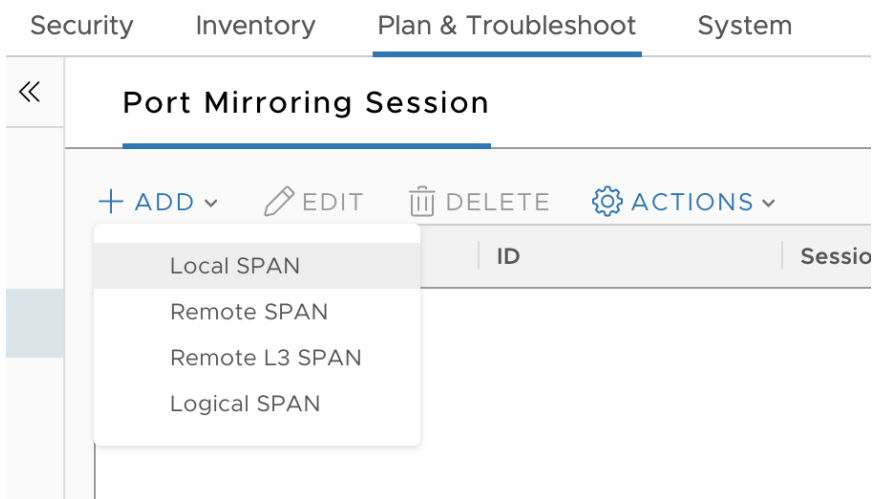


### 手順

1. NSX Manager で [Plan & Troubleshoot] を選択します。
2. [Port Mirroring] をクリックします。



3. [+ ADD] をクリックします。



4. [Local SPAN] を選択して、設定を行います。



## Add New Local SPAN Session



< 1. SELECT TRANSPORT NODE 2. SELECT SOURCE PNIC 3. SELECT SOI >

Session Name

Description

Port Mirroring Session can only be applied between NICs on the same Transport Node. Select Transport Node and proceed to the choose at least 1 Source PNIC or VNIC and at least 1 Destination VNIC.

Transport Nodes \*



Direction \*

Bidirectional



Packet Truncation



\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

NEXT

- a. [Session Name] にセッションを識別する名前を入力します。
  - b. [Transport Nodes] で、ホストと Deep Discovery Inspector が配置されているノードを選択します。
  - c. [Direction] で [Bidirectional] を選択して、仮想マシンの送受信トラフィックを含めます。
  - d. [NEXT] をクリックします。
5. ミラーリング元とする仮想マシンの NIC を選択し、[>] をクリックして、それを [Selected] に表示します。

## Add New Local SPAN Session



< 1. SELECT TRANSPORT NODE 2. SELECT SOURCE PNIC 3. SELECT SNIFFER >

### Select Physical Interface

Select VDS\* nsxHostSwitch

<input type="checkbox"/> Available (1)	<input type="checkbox"/> Selected (0)
<input type="checkbox"/> vmnic1	No records found

< BACK NEXT > 1 - 1 of 1 recs

Max Limit: 6

Encapsulated Packet ☐ Disabled

BACK

NEXT

6. [NEXT] をクリックします。
7. ミラーリング元の仮想マシンを選択し、[SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)] をクリックして、仮想マシンのインタフェースを選択します。

## Add New Local SPAN Session



### Step A: Select Virtual Machine

<input type="checkbox"/> Available (5)		<input type="checkbox"/> Selected (1)
<input type="checkbox"/> DDI_5.8	➤ ➤	<input type="checkbox"/> Host-02
<input checked="" type="checkbox"/> Host-02		
<input type="checkbox"/> Host-B		

< BACK NEXT > 1 - 5 of 5 rec

SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)

### Step B: Select Virtual Interface

[BACK](#)[NEXT](#)

8. [NEXT] をクリックします。
9. ミラーリング先のホスト (Deep Discovery Inspector) を選択し、[SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)] をクリックして、ホストのインタフェースを選択します。

## Add New Local SPAN Session

[< ECT SOURCE PNIC](#) [3. SELECT SOURCE VNIC](#) [4. SELECT DESTINATION >](#)

## Step A: Select Virtual Machine

☐ Available (5)

☒ DDI\_5.8  
☐ Host-02  
☐ Host-B

[< BACK](#) [NEXT >](#) 1 - 5 of 5 rec

☐ Selected (1)

☐ DDI\_5.8

[< >](#)

[SHOW VIRTUAL INTERFACE \(VNIC\)](#)

[BACK](#) [SAVE](#)

10. [SAVE] をクリックします。
11. セッションが作成されていることを確認します。

## Port Mirroring Session

<a href="#">+ ADD</a> <a href="#">EDIT</a> <a href="#">DELETE</a> <a href="#">ACTIONS</a>				
<input type="checkbox"/>	Session Name	ID	Session Type	Sources
<input type="checkbox"/>	Local SPAN	c662...d809	LocalPortMirrorS...	1 Port, 1 Pnic

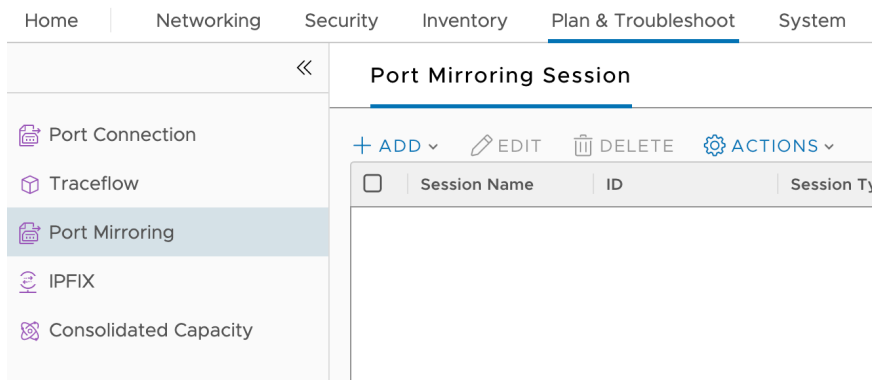
## RSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定

RSPAN を使用して、別の ESXi ハイパーバイザ上のトラフィックを監視し、トラフィックを 1 つ以上のミラーリング先に送信します。



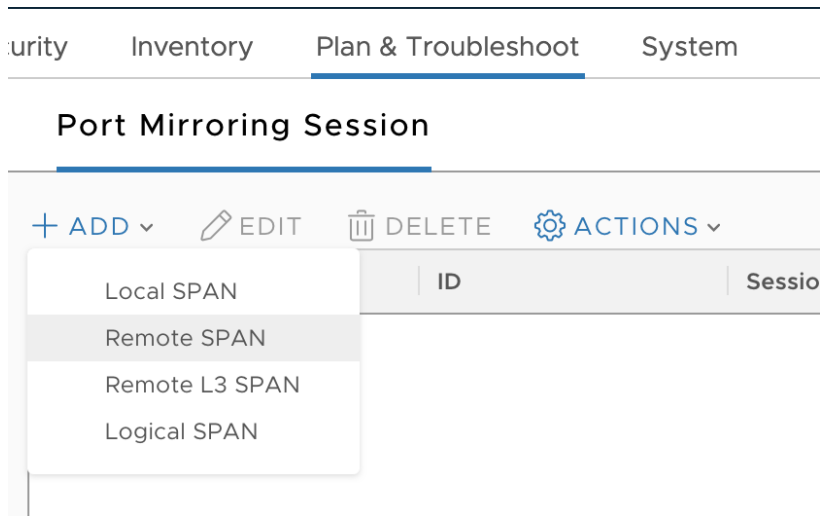
### 手順

1. NSX Manager で [Plan & Troubleshoot] を選択します。
2. [Port Mirroring] をクリックします。



3. ミラーリング元を設定します。

- a. [+ ADD] をクリックします。
- b. [Remote SPAN] を選択します。



- c. [Session Name] にセッションを識別する名前を入力します。
- d. [Session Type] で [RSPAN Source session] を選択します。

## Add New Remote SPAN Session



## 1. SELECT SESSION TYPE 2. SELECT SOURCE 3. SELECT DESTINATION

Session Name

Description

Session Type RSPAN Source session

Mirror network traffic from virtual machine interfaces to specific physical NICs over RSPAN VLAN IDs.

Transport Nodes\*

Direction\* Bidirectional

**NEXT**

- e. [Encap. VLAN ID] にリモート SPAN VLAN の ID を入力します。

Encap. VLAN ID\* 100

Preserve Orig. VLAN ☐ Disabled

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

- f. [NEXT] をクリックします。
- g. ミラーリング元の仮想マシンを選択し、[SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)] をクリックして、仮想マシンのインタフェースを選択します。

## Add New Remote SPAN Session



## Step A: Select Virtual Machine

☐ Available (3)

Search

☐ Host-01

☐ Host-A

☐ nsx-edge-01

< BACK NEXT > 1 - 3 of 3 rec

☒ Selected (1)

Search

☒ Host-01

< >

SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)

- h. [NEXT] をクリックします。
- i. データのエクスポート元とする仮想マシンの NIC を選択して、[NEXT] をクリックします。



## Add New Remote SPAN Session



## Select Physical Interface

Select VDS \*

nsxHostSwitch



Available (1)		Selected (1)
<input type="checkbox"/> vmnic1	<div> <div>➤</div> <div>➤</div> </div>	<input checked="" type="checkbox"/> vmnic1
<div> <div>➤</div> <div>➤</div> </div>		
<div> <div>➤</div> <div>➤</div> </div>		<div>Max Limit: 3</div>

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session





4. ミラーリング先を設定します。
  - a. [+ ADD] をクリックします。
  - b. [Remote SPAN] を選択します。
  - c. [Session Name] にセッションを識別する名前を入力します。
  - d. [Session Type] で [RSPAN Destination session] を選択します。

## Add New Remote SPAN Session

1. SELECT SESSION TYPE

## 2. SELECT SOURCE

## 3. SELECT DESTINATION

Session Name	PSPAN Dst
Description	<div></div>
Session Type	RSPAN Destination session  Mirror network traffic from RSPAN VLAN IDs to specific virtual machine interfaces.
Transport Nodes *	10.209.27.142 
Direction *	Ingress 
	

- e. [NEXT] をクリックします。
- f. [RSPAN VLAN ID] でリモート SPAN VLAN の ID を指定します。

**注意**

ミラーリング先 VLAN の ID はミラーリング元 VLAN の ID と同じである必要があります。

# Add New Remote SPAN Session



1. SELECT SESSION TYPE    2. SELECT SOURCE    3. SELECT DESTINATION

RSPAN VLAN ID \*

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring

- g. [NEXT] をクリックします。
- h. ミラーリング先のホスト (Deep Discovery Inspector) を選択し、[SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)] をクリックして、仮想 NIC を選択します。

# Add New Remote SPAN Session



## Step A: Select Virtual Machine

☐ Available (5)

☐ DDI\_5.8

☐ Host-02

☐ Host-B

BACK

NEXT

1 - 5 of 5 rec

➤

➤

☐ Selected (1)

☐ DDI\_5.8

SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)

- i. [NEXT] をクリックします。
5. セッションが作成されていることを確認します。

### Port Mirroring Session

<a href="#">+ ADD</a> <a href="#">EDIT</a> <a href="#">DELETE</a> <a href="#">ACTIONS</a>			
<input checked="" type="checkbox"/>	Session Name	ID	Session Type
<input checked="" type="checkbox"/>	PSPAN Dst	4d95...9481	RspanDstMirrorSession
<input checked="" type="checkbox"/>	RSPAN Src	133a...3ec8	RspanSrcMirrorSession

## ERSPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定

ERSPAN を使用して、別の ESXi ハイパーバイザまたは VLAN 上のトラフィックを監視し、トラフィックを 1 つ以上のミラーリング先に送信します。



### 手順

1. Deep Discovery Inspector 管理コンソールで [管理] > [システム設定] > [ネットワークインタフェース] の順に選択します。

2. [ネットワークインタフェース] 画面で、[詳細設定の表示] をクリックします。
3. [カプセル化されたリモートミラーリング] 列で、ERSPAN に使用するインタフェースの [有効] をオンにして、IP アドレスを指定します。

#### ネットワークインタフェース

ネットワークトラフィックのキャプチャ、ダンプ、およびトラブルシューティングを行うには、[ネットワークトラフィックダンプ](#)画面に移動してください。

☐ 各ストリームのVLANタグを確認して接続を区別する

インタフェース	役割	MACアドレス	ステータス	監視 ①	カプセル化されたリモートミラーリング ①
管理ポート	管理		10000F: 10000 Mbps x ...		
ポート1	データ		10000F: 10000 Mbps x ...	はい	<input checked="" type="checkbox"/> 有効化 <input type="text"/>

4. NSX Manager で [Plan & Troubleshoot] を選択します。
5. [Port Mirroring] をクリックします。

Home
Networking
Security
Inventory
Plan & Troubleshoot
System

<<

Port Connection
Traceflow
Port Mirroring
IPFIX
Consolidated Capacity

### Port Mirroring Session

+ ADD
EDIT
DELETE
ACTIONS

<input type="checkbox"/>	Session Name	ID	Session T...

6. [+ ADD] をクリックします。
7. [Remote L3 SPAN] を選択します。

Security Inventory Plan & Troubleshoot System

## Port Mirroring Session

+ ADD ▾

EDIT

DELETE

⚙️ ACTIONS ▾

Local SPAN

Remote SPAN

Remote L3 SPAN

Logical SPAN

ID	Session
----	---------

8. [Session Name] にセッションを識別する名前を入力します。
9. [Encapsulation] でカプセル化の方法を選択します ([GRE] または [ERSPAN TWO])。



### 注意

[ERSPAN THREE] を使用すると問題が発生する場合があります。トレンドマイクロでは、[GRE] または [ERSPAN TWO] を使用することをお勧めします。

## Add New Remote L3 SPAN Session



< 1. SELECT SESSION TYPE 2. SELECT SOURCE VNIC 3. SELECT LOGICA >

Session Name	Remote L3 SPAN
Description	<input type="text"/>
Encapsulation *	GRE
GRE Key	 
Direction *	Bidirectional
Packet Truncation	 

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

NEXT

10. [NEXT] をクリックします。
11. ミラーリング元の仮想マシンを選択し、[SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)] をクリックして仮想マシンのインタフェースを選択し、[NEXT] をクリックします。

## Add New Remote L3 SPAN Session



## Step A: Select Virtual Machine

☐ Available (8)

☐ DDI\_5.8

☒ Host-01

☐ Host-02

< BACK NEXT > 1 - 8 of 8 rec

☒ Selected (1)

☒ Host-01

< >

SHOW VIRTUAL INTERFACE (VNIC)

BACK

NEXT

- ミラーリング元の仮想マシン (ホスト) の論理スイッチを選択して、[NEXT] をクリックします。



## Add New Remote L3 SPAN Session



1. SESSION TYPE 2. SELECT SOURCE VNIC 3. SELECT LOGICAL SWITCH

Available (7)		Selected (1)
<input type="checkbox"/> LS-Overlay		<input checked="" type="checkbox"/> LS-WEB
<input type="checkbox"/> LS-VLAN		
<input checked="" type="checkbox"/> LS-WEB		

< BACK NEXT > 1 - 7 of 7 rec

Max Limit: 1

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

BACK

NEXT

- ミラーリング先の IP アドレス (Deep Discovery Inspector に指定されているカプセル化の IP アドレス) を入力して、[SAVE] をクリックします。

## Add New Remote L3 SPAN Session

 ×

&lt; SOURCE VNIC 3. SELECT LOGICAL SWITCH 4. SELECT DESTINATION &gt;

IP Address \*

10.209.27.155 ×

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring

BACK

SAVE

14. セッションが作成されていることを確認します。

## Port Mirroring Session

+ ADD ▾

 EDIT DELETE ACTIONS ▾

Session Name

ID

Session Type



Remote L3 SP...

0e15...e362

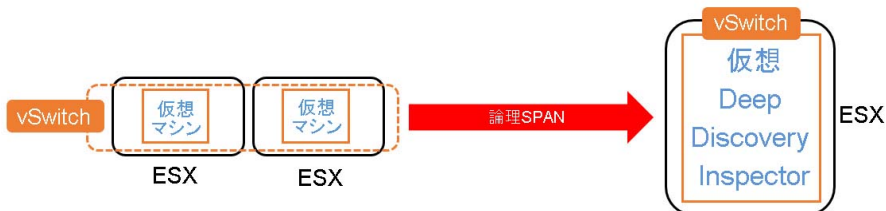
L3PortMirrorSession

## 論理 SPAN を使用したトラフィックミラーリングの設定

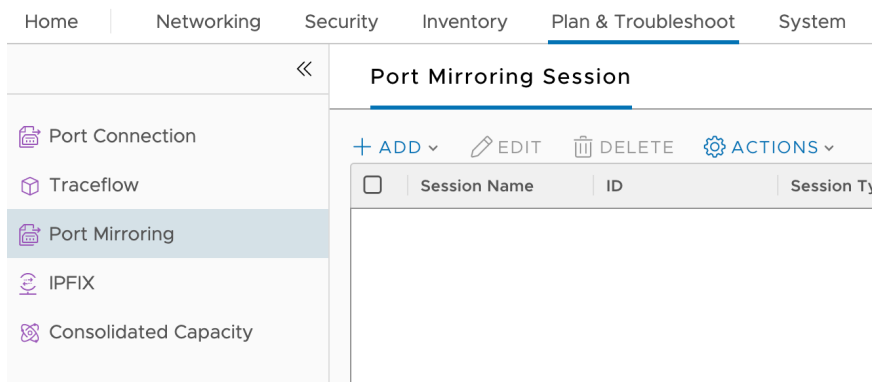
論理 SPAN を使用して、同じ論理スイッチ上のトラフィックを監視し、トラフィックを 1 つ以上のミラーリング先に送信します。

**注意**

ミラーリング元とミラーリング先が同じ論理スイッチ上にある必要があります。

**手順**

1. NSX Manager で [Plan & Troubleshoot] を選択します。
2. [Port Mirroring] をクリックします。



3. [+ ADD] をクリックします。
4. [Logical SPAN] を選択します。

Security Inventory **Plan & Troubleshoot** System

## Port Mirroring Session

+ ADD ▾ EDIT DELETE ACTIONS ▾

Local SPAN

Remote SPAN

Remote L3 SPAN

Logical SPAN

ID	Ses:
----	------

5. [Session Name] にセッションを識別する名前を入力します。
6. [Logical Switch] で、公開済みのミラーリング元が配置されている論理スイッチを選択します。

## Add New Logical SPAN Session



< 1. SELECT LOGICAL SWITCH 2. SELECT SOURCE 3. SELECT DESTIN >

Session Name	Logical SPAN
Description	<input type="text"/>
Logical Switch *	LS-WEB <span>▼</span>
Direction *	Bidirectional <span>▼</span>
Packet Truncation	<span>⬇</span>

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

NEXT

7. [NEXT] をクリックします。
8. ミラーリング元を選択して、[NEXT] をクリックします。

## Add New Logical SPAN Session



&lt; 1. SELECT LOGICAL SWITCH 2. SELECT SOURCE 3. SELECT DESTIN &gt;

## Select Logical Ports

<input type="checkbox"/> Available (3)		<input type="checkbox"/> Selected (1)
<input type="checkbox"/> DDI_5.8.vmx@d9441a10-5fbe...		<input type="checkbox"/> Host-01.vmx@9f60a2a0-594...
<input checked="" type="checkbox"/> Host-01.vmx@9f60a2a0-594...		
<input type="checkbox"/> Host-02.vmx@29fad828-91fa...		
<a href="#">&lt;</a> BACK NEXT <a href="#">&gt;</a> 1 - 3 of 3 Lo		Max Limit: 6

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

BACK

NEXT

9. ミラーリング先を選択して、[SAVE] をクリックします。

**注意**

ミラーリング先が表示されない場合、ミラーリング先がミラーリング元と同じスイッチ上に存在することを確認してください。

# Add New Logical SPAN Session



1. SELECT LOGICAL SWITCH 2. SELECT SOURCE 3. SELECT DESTINATION

## Select Logical Ports

Available (3)

DDI\_5.8.vmx@d9441a10-5fbe...

Host-01.vmx@9f60a2a0-594...

Host-02.vmx@29fad828-91fa...

BACK

NEXT

1 - 3 of 3 Lo

Selected (1)

DDI\_5.8.vmx@d9441a10-5fbe...

Max Limit: 3

\*The source and destination can not be changed after saving the port mirroring session.

BACK

SAVE

10. セッションが作成されていることを確認します。

## Port Mirroring Session

+ ADD EDIT DELETE ACTIONS				
	Session Name	ID	Session Type	
	Logical SPAN	14e2...1ce3	LogicalLocalPortMirrorSession	





# 索引

